

1. プログラム

セッションI:映像出力と表現技術

いまさら聞けないカラーマネジメントの話 日本大学芸術学部写真学科 甲田 謙一
写真の『リアル』な質感表現技術 デジタルフォト研究会 岩本 康平
被写体並びに表現方法別の機材選び 写真家 相原 正明

セッションII:最新ミラーレスカメラシステムの技術動向

最新ミラーレスカメラ事情 日本カメラ財団 日本カメラ博物館 市川 泰憲
OM-D E-M1シリーズの開発 オリンパス(株)映像開発 カメラ開発 高瀬 正美
新次元の光学性能を目指したZマウントシステムの開発

(株)ニコン 光学本部 第二開発部 第二設計課 風早 聡志

(株)ニコン 光学本部 第三設計部 第二光学課 真杉 三郎

Lマウント採用フルサイズミラーレス LUMIX S1R/S1 の開発

パナソニック(株) アプライアンス社 スマートライフネットワーク事業部
イメージングビジネスユニット 商品設計部 高橋 征契

2. 参加状況

参加者延べ人数:56名:全セッション20名、セッションIのみ7名、セッションIIのみ9名と大変多くの方に参加頂きました。

3. アンケート集計結果。

満足度89%と参加の皆様には、高い評価を頂きました。ここに参加頂いた方からの感想の一部を紹介いたします。

【今回のアカデミーの感想】

- ①メーカーの技術者が、最新ミラーレス一眼カメラに搭載された技術について詳しく説明してくれたこと。
また、相原先生の様なプロの写真家の方が素晴らしい作品の実例を見せながらカメラの良し悪しを話してくれた。
市川先生には実にカメラ趣味な観点から本音の話が聞けました。全て面白かったです。
- ②非常に勉強になりました。ありがとうございます。
- ③見落としていた情報を改めて吸収出来て良かった。
記憶色、期待色のあたたかい部分を大切にすることも忘れないでいたい。
プロの方使用しているカメラが知れて面白かった。次に購入するカメラの参考にしたい。
- ④興味深い内容でした。
- ⑤技術的な内容を聞くことが出来、有意義だった。
- ⑥Canon RP、Rの話も聞きたかった。
- ⑦設計・技術の詳細なお話が聞けた。
- ⑧映像や写真を使って技術紹介していた点分かりやすかった。
- ⑨カメラメーカーの紹介はHPや展示を見れば分かる内容が多かったなので、講演でしか聞けない様な内容が聞けると講演のロイヤリティが高まると感じた。

【今後のテーマへの希望・提案】

- ①写真と映画・ビデオ等の動画のクロスオーバー。デジタルスチルカメラで動画が撮れる様になり、
フォトグラファーからビデオグラファーに活動を広げる人も少なくない中で、映画や4K/8KHDRのビデオ等、
お互いの領域が重なりあっている現状の技術的問題や今後の可能性など。
- ②日通しで聴講するには、全てのテーマが技術主体だと少しつらいので、本日のプログラムのように、写真作品、写真趣味
に寄った講演があった方が良いです。これからも今回のようなスタイルで続けて頂ければ申し分ございません。
- ③デジタルカメラ技術の最新動向、デジタルカメラ用レンズの最新動向
- ④カメラ業界の今後の展望、市場の活性化をどうするか。

4. 来年度のPHOTONEXT技術アカデミーにむけて

来年は、オリンピックイヤーとなり、プロ機材&フォトセミナー最大スケールの『PHOTONEXT 2020』も
更に拡大が見込まれます。PHOTONEXT技術アカデミーも
今回のアンケートを参考に、更に皆様に満足して頂けるアカデミーを目指して頑張ります。
来年も多くの参加をお待ちしております。